



福井県DX推進本部 令和7年度 本部会議

令和7年7月15日

次第

1. 本部長 挨拶

2. DX推進の取組みと今後の方針

3. 意見交換

(※概要説明後、意見交換部分は非公開)

1. 本部長 挨拶

福井県知事 杉本 達治

2. DX推進の取組みと

今後の方針

DX推進監 前側 文仁

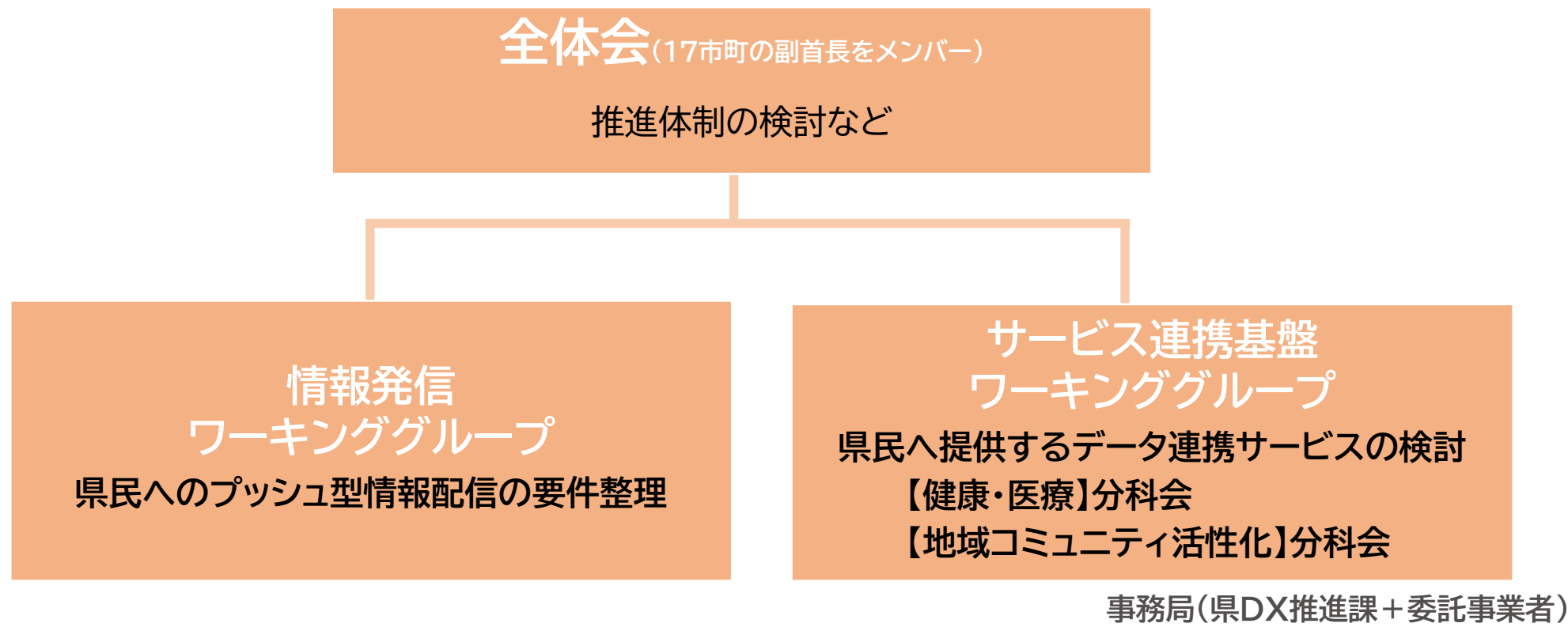
今年度の取組み

県民向けDX

プッシュ型行政の推進

市町と一緒に福井県プッシュ型行政推進協議会を設立(4月16日)
県民の属性や興味関心に合わせ、適切なタイミングで情報を発信し、電子申請や他サービスとの連携するプッシュ型行政の実現に向け検討開始
(情報発信システムについては、令和8年度内の運用開始を目指す)

福井県プッシュ型行政推進協議会



プッシュ型行政の具体的なイメージ

令和8年度中 プッシュ通知サービス開始

令和9年度以降

順次、データ連携基盤を活用したサービス拡大

プッシュ通知(※ マルチチャンネル配信)

データ連携を活用したサービス

※ 収集した情報を民間等も利用できる形で公開し、様々な民間企業アプリ等を活用して情報発信

【プッシュ型情報発信SYS(県整備)】

【県・市町HP】

情報収集システム
自動化検討
AI等を活用し、HP内容
から属性を自動作成

自動取得
(クローリング等)



【〇〇アプリ(民間)】 例:ふくアプリ(約18万人)

属性情報等の登録

属性

配偶者の情報
子供の情報
職業など

興味・関心

子育て、教育
介護、見守・安全、
税、産業 など

データ
マッチング

発信

【様々な官民サービス】

健康管理



電子カルテ



地域通貨



電子回覧板



ID連携

ID連携

ID連携

【データ連携基盤】

【マルチチャンネル配信のメリット】 行政: ホームページに情報発信するだけで、数十万ユーザに情報を配信可能

住民: ○ユーザが普段使いしてるアプリに情報が届く(難しい新規登録なし)

○県・市町の情報の一つのアプリで取得できる

デジタルデバイス対策

デジタル時代に取り残されないよう、丁寧な対応を実施 (令和7年度トライアル予算を活用し、県内5市で実証)

スマートフォン貸出体験



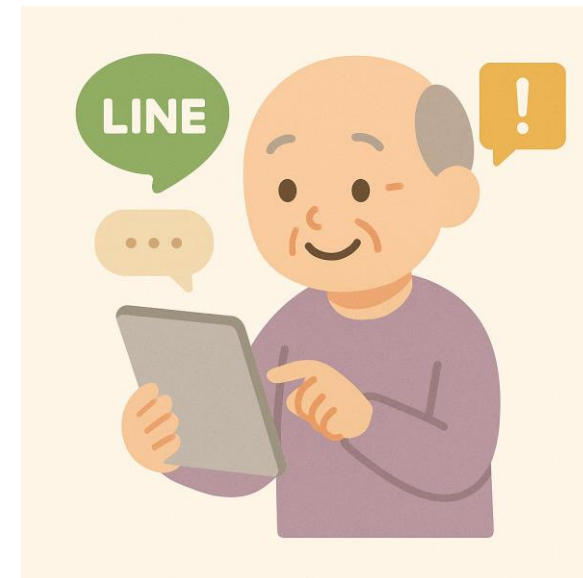
無償貸出があるなら使ってみたい方がどの程度いるか、貸し出し後スマートフォンの所有を希望するかを検証(10台×5市)

住民が相互に教え合う拠点整備



住民同士が教え合える体制構築に向け、公民館など地域拠点にて、住民にスマートフォンの操作を教えるスマホ相談会を開催

利便性の体感



自治会アプリや健康増進アプリなどスマートフォンの利便性を体感

はぴコインの民間利用拡大

消費喚起、福利厚生など民間企業による利活用が活発化

消費喚起



ショッピングセンターのキャッシュバック
キャンペーンで「はぴコイン」を付与

福利厚生



職員組合の福利厚生事業として
組合員に「はぴコイン」を付与

業務改善



業務の改善提案・ヒヤリハット提案に対し、
社員に「はぴコイン」を支給

〔 今年度、民間利用・市町利用・県事業合わせて「はぴコイン」を活用した事業は50件以上 〕

県立図書館電子書籍サービス事業(本日7/15スタート)

誰でも、いつでも、どこでも、知りたい、学びたい情報に出会うことができる環境を整備

24時間利用可能



電子書籍は、インターネットから24時間利用可能。図書館から遠く来館できない方、交通手段が限られる方、仕事の都合などで開館時間に利用できない方でも使いやすくなります。

読みやすさ向上



文字の拡大や、全文をキーワードで検索することが可能になります。また、音声読み上げもできることから、紙の本を読むことにハンディのある方も読書しやすくなります。

充実のコンテンツ



ビジネス、医療健康、学校支援、多文化理解の分野で約6000点が利用可(サービス開始時点)。今年度中に約1万点を整備予定

行政のDX

県独自データを扱う特化型生成AIの導入による業務効率化 (特定の情報を事前に学習し、学習した内容を基に回答を生成)

庁内問い合わせ対応

 **国費事務AIチャットボット**

知りたいことを具体的かつ詳細に質問を入力してください。

回答の最後に、出典元の文書へのリンクが表示されます。誤った回答が表示される可能性がありますので、必ず出典を確認してください。

国費事務について特に注意することはありますか？

国費事務担当になりました。何から始めたらよいですか？

- ・令和6年12月から国費受入れ事務チャットボットの運用開始
- ・今後、新財務会計システム、電子決裁システム、休暇制度、プレスリリースシステムのチャットボットの範囲を拡大

県民問い合わせ対応



- ・県民問い合わせ対応の生成AIを試験導入(トライアル予算)
- ・子育て関連情報(県と福井市、敦賀市)を学習させ、回答精度を確認(子育て世代がモニターとして参加)
- ・有用性を確認できれば、今後、他分野にも展開



女性職員のデジタルスキル向上と業務効率化 (女性職員目線での困りごと・面倒ごとを、プチDXにより自ら解決)

ロゴマーク



生成AI(Microsoft Copilot:DALL_E3)にて作成

第一回イベントの様様



今後の方針

行政DXの徹底と社会実装推進

行政DXの徹底

法定DX対応
徹底した業務変革
(行財政改革)

○マイナンバーカードの利活用促進

マイナ保険証の導入、運転免許証との一体化に加え、iPhoneへのマイナンバーカード機能搭載開始
利活用策の検討により、県民の利便性を向上

○(デジタルを活用した)業務改革

外部(DX推進アドバイザーなど)を交え、業務を可視化し、業務改革を推進

デジタルの社会実装推進

データ取得／活用
県／市町／民間の
「連携」と「共同化」

○データ・サービスの連携

住民サービスの向上・行政事務の高度化を目指し
プッシュ型行政推進協議会での議論を通じ、データやサービスを連携させた事業の実現を図る
(現在は健康・医療、地域コミュニティ活性化を検討)

○デジタル人材の確保・育成

一人情シス等の市町を支援するため、国の制度も活用し、デジタル人材を確保・育成

3. 意見交換

プッシュ型行政の実現に向けて

- ① サービス連携基盤を活用したサービス提供
- ② 生成AIの利活用

①サービス連携基盤を活用したサービス提供

サービス連携基盤・・・

利用者の許諾の下、インターネット上で提供される様々なサービス間で保有するデータを相互に連携させ、分野や組織の壁を越えて活用することにより、これまでになかった**便利なサービスの提供、煩雑な登録手続きの一元化、省力化**を実現

※令和4年度導入 サービス連携基盤は県だけでなく、市町、民間事業者も利用可能

サービス連携基盤活用のイメージ



デジタルサービス例(1)



デジタルサービス例(2)



デジタルサービス例(3)



(3) 【健康・医療】栄養状態から買い物をアドバイス

スーパーでの買い物情報をもとに、栄養バランスを整えるおすすめの食材をアドバイスしてもらえます。希望すれば栄養士のアドバイスや、健康相談も受けられます。 **必須**

デジタルサービス例(4)



(4) 【健康・医療】あなたにぴったりの認知症予防

健康診断のデータ等から認知症になるリスクを把握し、あなたに合わせた認知症予防サービス(脳を活性化するゲーム、簡単にできる運動など)を受けることができます。 **必須**

デジタルサービス例(5)



(5)【健康・医療】スマートウォッチで健康管理

スマートウォッチで日々の健康データを取得し、アプリで見ることができます。健康診断の情報と合わせて、専門家から健康相談を受けることもできます。 **必須**

デジタルサービス例(6)



(6)【子育て支援】母子手帳アプリで子育ての手続きを簡単に

母子手帳アプリから、子育て支援情報・予防接種などの情報を受け取ることができ、病院の予約や予診票の提出まで、アプリで手続きが完結します。 **必須**

デジタルサービス例(7)



(7)【地域コミュニティ活性化】デジタル回覧板で地域活性化

地域・町内会・行政からの情報を、デジタル回覧板で受け取ることができます。また町内の清掃イベント等に参加するとポイントがもらえ、地域の活動がもっと楽しくなります。 **必須**

デジタルサービス例(8)



(8)【地域コミュニティ活性化】お困りごととボランティアをマッチング

雪下ろしや買い物などのお手伝いをして欲しい方と、お手伝いしたい方をマッチングします。お手伝いしてくれた方には地域でお買い物に使える感謝ポイントが進呈されます。 **必須**

デジタルサービス例(9)



(9) 【交通・物流】マイナンバーカードで移動を安く便利に

妊産婦、高齢者などの移動が難しい方が、マイナンバーカードを提示することで、割引料金でタクシーを利用することができます。 **必須**

デジタルサービス例(10)

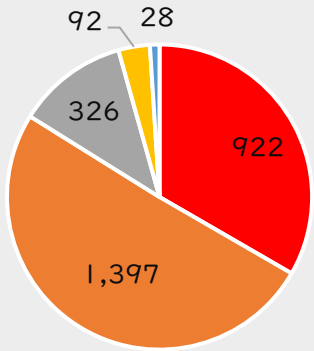


(10) 【防災・安全】マイナンバーカードで見守り

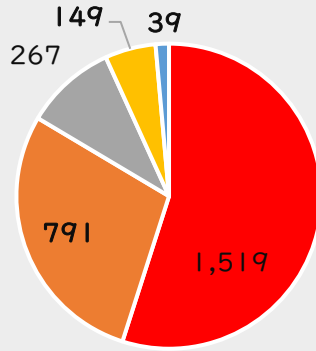
子どもや高齢者が公共交通機関や施設を利用すると、保護者に通知が届き、家族の情報を知ることができます。サービス利用で地域で使えるポイントもたまります。 **必須**

デジタルサービスに関する県民ニーズ調査(単純集計結果)

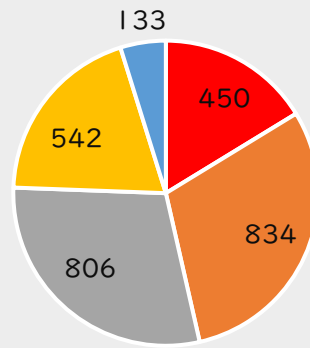
事例1【行政サービス】
行政情報を自動でお知らせ



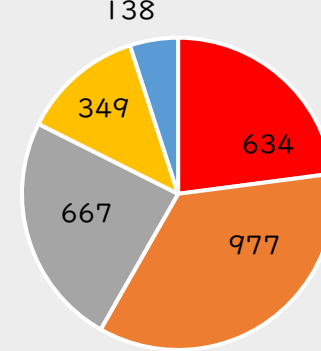
事例2【健康・医療】
歩数に応じてポイントをゲット



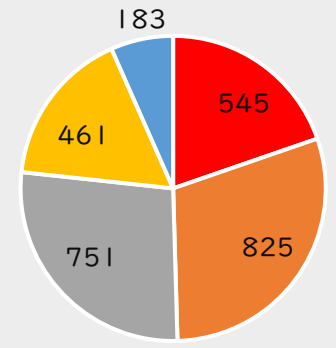
事例3【健康・医療】
栄養状態から買い物をアドバイス



事例4【健康・医療】
あなたにぴったりの認知症予防

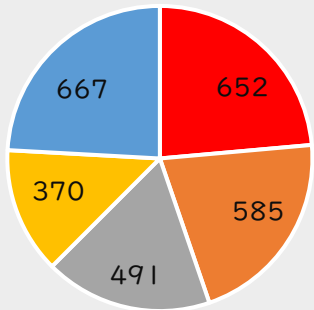


事例5【健康・医療】
スマートウォッチで健康管理

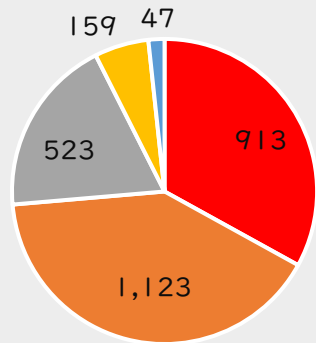


非常に使いたい 使う可能性が高い どちらともいえない 使わない可能性が高い 全く使わない

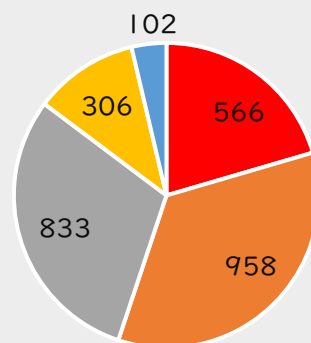
事例6【子育て支援】
母子手帳アプリで
子育ての手続きを簡単に



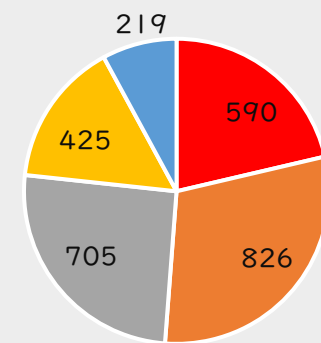
事例7【地域コミュニティ活性化】
デジタル回覧板で地域活性化



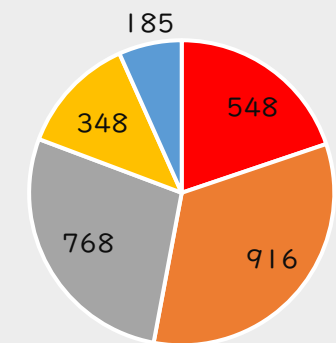
事例8【地域コミュニティ活性化】
お困りごととボランティアを
マッチング



事例9【交通・物流】
マイナンバーカードで
移動を安く便利に



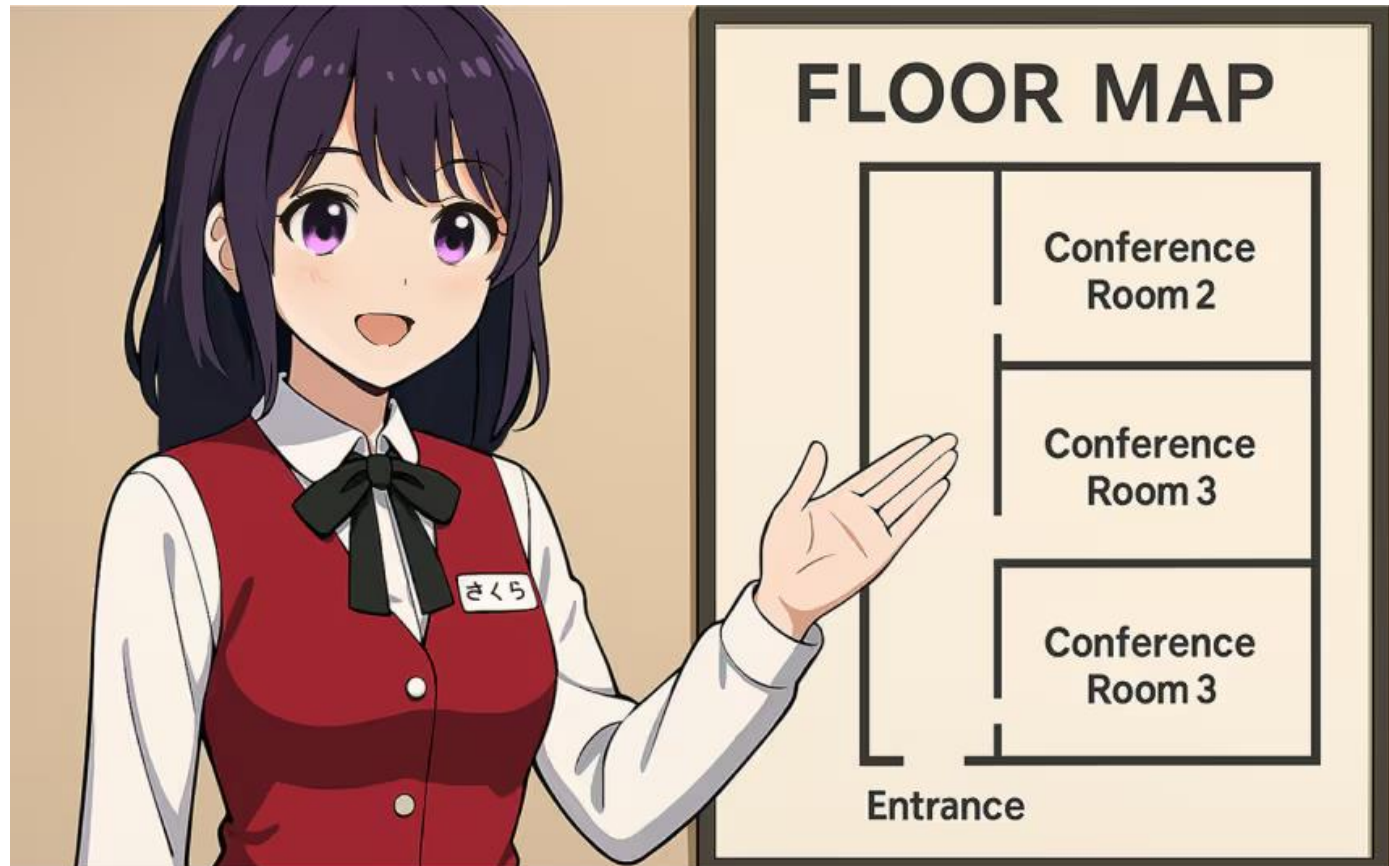
事例10【防災・安全】
マイナンバーカードで見守り



例にあげた10の事例のうち、事例1【行政サービス】、事例2【健康・医療】、事例7【地域コミュニティ活性化】について
広く県民に高いニーズがあることが判明

②生成AIの利活用

(AIさくらさん モニターで実演)



3. 意見交換(非公開)